

令和6年度
福島市中心市街地活性化協議会
事業報告

1. 会議等の開催

(1) 協議会の開催

開催日	内 容
令和6年 5月9日	第34回協議会（書面審議） 【議 題】 (1) 認定基本計画の定期フォローアップ報告について
令和6年 5月24日	第35回協議会 【報 告】 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画 第3回変更認定について (2) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の令和5年度定期フォローアップ報告について 【議 題】 (1) 令和5年度事業報告について (2) 令和6年度事業計画（案）について 【説 明】 (1) 「再開発事業について」 説 明 福島市都市政策部 部長 森 雅彦 氏
令和6年 6月17日	第36回協議会（書面審議） 【議 題】 (1) 認定基本計画の計画変更（第4回）に関する内閣府への変更認定申請について
令和6年 12月26日	第37回協議会（書面審議） 【議 題】 (1) 認定基本計画の計画変更（第5回）に関する内閣府への変更認定申請について

(2) 運営会議の開催

開催日	内 容
令和6年 4月26日	第43回運営会議 【報 告】 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画第3回変更認定について 【議 題】 (1) 令和5年度事業報告および収支決算について (2) 令和6年度事業計画（案）および収支予算（案）について (3) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の令和5年度定期フォローアップ報告（案）について (4) 令和6年度福島市中心市街地活性化協議会（総会）の開催について
令和6年 12月20日	第44回運営会議 【議 題】 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の第5回変更概要について (2) 今後のスケジュールについて

2. 意見の提出

開催日	内 容
令和6年 5月27日	中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する協議会意見を提出 ※提出先 福島市長 木幡 浩 氏
令和6年 6月26日	中心市街地活性化基本計画の第4回変更に対する協議会意見を提出 ※提出先 福島市長 木幡 浩 氏
令和7年 1月22日	中心市街地活性化基本計画の第5回変更に対する協議会意見を提出 ※提出先 福島市長 木幡 浩 氏

3. 事業の実施

(1) 講演会の開催

開催日	内 容
令和6年 12月11日	勉強会「空きはポテンシャル！-無理のない豊かな日常の作り方-」 空き店舗や駐車場の増加により中心市街地の活力が低下している現状を踏まえ、エリア価値向上を目指したまちづくりを学ぶことを目的に開催。まちなかの駐車場や空き地を、人々が歩きたくなるような形で活用することの重要性を学ぶ機会となった。 ◇講 師：西村 浩（にしむら ひろし）氏 株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 ◇会 場：ウェディングエルティ ◇参加数：65名



(2) 先進地視察会の開催

開催日	内 容
令和7年 3月10日	まちなかを訪れた人の回遊を促し、個店の活性化を通じて中心市街地全体のにぎわい創出に繋げることを目的に、集積力・集客力・販売額のいずれも県内随一を誇り、民間事業者と地元商店街が連携してまちづくりに取り組む山形市七日町を視察した。 ◇視察先：七日町商店街（山形県山形市） ◇参加数：16名



(3) 無料貸し傘サービス事業の実施

実施日	内 容
令和6年 4月1日	無料貸し傘サービス事業「もりりん貸し傘サービス事業」 来街者に対するまちのおもてなしと福島駅から大原総合病院の区間（古閑裕而ストリート）の回遊性向上を目的に実施。 (1)設置場所 1. JR 福島駅東口（観光案内所前） 2. AXC ビル（1階ししどやおや） 3. ウィズもとまち 4. チェンバおおまち 5. 大原総合病院 6. こむこむ (2)設置本数 200本



4. 賑わい創出事業への支援

(福島駅前から駅前通り商店街および周辺商店街の活性化に関する事業)

(1) 福島駅前元気プロジェクト関係

「地元から地元の皆で街を元気に」を合言葉にまちを元気にするフェスを福島駅前通りと駅前広場で季節ごとに開催。手づくり品や菓子類を販売する「手づくりマルシェ」や果物・野菜の生産者直売ブース「GoodDayMarket」、広域連携を目的とした相馬市・米沢市のブースでまちのにぎわいを創出。

- ① 2024. 4. 7 「Fukushima ハルフェス in えきまえ 2024」
- ② 2024. 7. 7 「Fukushima ナツフェス in えきまえ 2024」
- ③ 2024. 10. 6 「Fukushima アキフェス in えきまえ 2024」
- ④ 2024. 12. 6 「Fukushima フユフェス in えきまえ 2024」



写真：ナツフェス

(2) 大学生・高校生のまちなかでのイベント開催支援

これからのまちづくりにおいて若者の参画が期待されるなか、若者が中心市街地の駅前通り、まちなか広場、パセオ 470 および周辺地区で行おうとするイベントに対して、イベントの企画立案、会場選定、収支計画、広報、運営費等に関し、学生が求める相談支援を福島市、(株)福島まちづくりセンター、福島商工会議所と連携して行った。



福島商工会議所
相談窓口案内チラシ



(株)福島まちづくりセンター
街なか若者活動促進事業チラシ

●相談対応件数 5 件

- ・福島大学「Fukushima ナツフェス in えきまえ 2024」にブース出店
 - ▶ハラルフード(ムスリムに許された食事)の提供を通じた異文化理解の促進
- ・福島高校「エッグドロップコンテスト」
 - ▶画用紙で卵を守るプロテクターを作り、高い場所から落としても卵が割れないようにする科学実験

※その他 福島学院大学、橘高校 他

(3) イベント開催時のまちなか個店への効果的誘導策に関するアンケート調査

駅前通りを中心とした中心市街地でのイベント開催により、まちなかににぎわいが創出されているが、イベント来街者が中心部一体への広がりには必ずしもつながっているとは言えないことから、来街者のまちなかの個店への効果的な誘導策を調査研究し、中心市街地全体のにぎわい創出と個店の販売促進につなげることを目的に実施した。

実施期間	令和6年11月20日（水）～12月6日（金）
対象事業所数	140（右図内の物販・飲食・サービス業） ※福島商工会議所 会員事業所
回答方法	郵送・Google Forms・FAX
回答事業所数	53 事業所（回答率 37.9%）
調査結果	まちなかでのイベントの開催に対する満足度は約8割と高く、特に、まちの賑わいの点については、複合型イベントの開催などを求める声が8割程度挙げられたが、個店における販促活動は比較的消極的だった。イベントの効果を商業活性化につなげるためには、各個店からのニーズが高い「商店街ガイドマップ」の配布をはじめ、まちなかの回遊を動機づける取組みを積極的に進めることが課題として挙げられた。



(4) 「まちなかイベントカレンダー」(ホームページ) によるまちなか情報の発信

市内中心部で開催される各種イベント情報を収集し、まちなかの賑わい創出を目的にインターネット（公式ホームページ・スマートフォンサイト）で一括した情報発信を行ったほか、イベントカレンダーの周知とまちなかへの集客に向けた SNS 広告を実施した。

●SNS 広告内容

広告掲載期間	令和6年10月1日（火）～11月3日（日） 計 34 日間/毎日配信
広告配信先	Instagram、Facebook 他
広告配信エリア	(福島県内) 福島市、桑折町、国見町、伊達市、川俣町 飯館村、二本松市、大玉村、本宮市、三春町 郡山市、須賀川市、猪苗代町、相馬市、南相馬市 (宮城県内) 丸森町、山元町、角田市、白石市 (山形県) 米沢市、高畠町、南陽市、上山市
広告配信対象	18 歳以上でイベント、音楽、コンサート、ダンス、ライブ、祭り等に興味関心のある全て
閲覧数 (広告先ページ)	10,514 回（一般的な閲覧数：1,000 回程度）



広告画面①



広告画面②

5. 関係会議等への出席

(1) ㈱福島まちづくりセンターとの連携

中心市街地の空き地・空き店舗対策事業への協力